

令和 6 年度 事業報告

(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

公益財団法人 S G H 財団

本年度においても、国際的で活力ある社会の創造に向け、多面的かつ幅広く社会活動に寄与することを目的として、教育・文化、医療・福祉、経済・産業等の振興、発展を図るための研究及び事業への助成等を行うとの本財団の設立趣旨に則し、公益財団法人として、公益目的事業の充実を図るべく、東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国からの外国人留学生に対する奨学金助成事業、がんの基礎研究並びに応用治療研究に対する助成、褒賞事業、並びにがんに関するオンラインによる市民講座を実施した。また、物流人材育成を目的に、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ラオス人民民主共和国、ベトナム社会主義共和国、マレーシアに対して物流に関する講義の提供を行った。

I 事業の概要

公益目的事業

1 留学生奨学事業

(1) S G H 奨学生

日本の大学または大学院に在学する東南アジア諸国連合（ASEAN）加盟国の国籍を有する私費外国人留学生を対象とし、大学に募集要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 6 年 4 月 17 日までに 71 大学から 79 名の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、第 39 期 S G H 奨学生並びに第 4 期 S G H 特定奨学生を選出、理事会の決議を経て、次のとおり奨学支援を行った。

第 39 期 S G H 奨学生：20 名

（一人当たり月額 12 万円、給付期間 2 年間）

年間給付額：2,880 万円（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）

氏 名

国籍

大学／学部・研究科

（敬称略・順不同）

センモンチャン パー

ラオス

長岡技術科学大学 工学部

レ ミン ヒェウ	ベトナム 岡山大学 グローバル・ディスカバリー・プログラム
ブラノン ファウスティン マー セガヨ	フィリピン 都留文科大学 文学部
グエン ティ トゥイ	ベトナム 長崎県立大学 経営学部
クリスチャン フィルカサ パランテ	インドネシア 東京国際大学 ビジネスエコノミクス学部
ライ トゥイ リン	ベトナム 帝京大学 経済学部
マク スイ ヤ	マレーシア 東洋大学 経済学部
グエン タイン トゥン	ベトナム 福井工業大学 工学部
ヴ トゥイ リン	ベトナム 日本福祉大学 国際福祉開発学部
クリストファー ケビン シスワント	インドネシア 立命館大学 情報理工学部
グエン ティ ゴック ハン	ベトナム 追手門学院大学 国際学部
グエン アン クアン	ベトナム 環太平洋大学 経済経営学部
リー ユン ル	シンガポール 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ジェン マカラ	カンボジア 神戸大学大学院 理学研究科
ダラ サリ アリニ	インドネシア 徳島大学大学院 口腔科学研究科
ヒダヤット ジハン アルサ	インドネシア 早稲田大学大学院 基幹理工学研究科
グッサワンネート ダラサットゥリー	タイ 一橋大学大学院 社会学研究科
フン ヴ トゥイ リン	ベトナム 大阪大学大学院 国際公共政策研究科
クリストファー ケニー ホエシン	インドネシア 上智大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科
グエン ゴック トウック	ベトナム 龍谷大学大学院 文学研究科

第4期SGH特定奨学生：5名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：1,080万円（令和6年4月～令和7年3月）

氏名	国籍 大学／研究科（敬称略・順不同）
ジン ペイン トウ	ミャンマー 富山大学大学院 医学薬学教育部
マナロ ジアン ビアンカ ピロテ	フィリピン 岐阜大学大学院 連合農学研究科
インダ ジャミアトゥン ハサナ	インドネシア 山口大学大学院 東アジア研究科
ヌティパー イヤムオーパー	タイ 北里大学大学院 獣医学系研究科
ジュライ キン マウン ソー	ミャンマー 聖路加国際大学大学院 公衆衛生学研究科

第38期SGH奨学生：20名

（一人当たり月額12万円、給付期間2年間）

年間給付額：2,880万円（令和6年4月～令和7年3月）

氏名	国籍 大学／学部・研究科（敬称略・順不同）
コクラチャイ アティップ	タイ 北海道大学 現代日本学プログラム課程
チャン クアン サン	ベトナム 秋田大学 理工学部
チュー ジョリン	マレーシア 山形大学 工学部
ゲラルディ サロモ パンケレゴ	インドネシア 尾道市立大学 芸術文化学部
グエン ティ ミー ハイ	ベトナム 叡啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部
ドー ティ タイン トム	ベトナム 拓殖大学 商学部
レ ゴック フェン	ベトナム 武蔵野大学 グローバル学部
クア チー フイ	マレーシア 京都先端科学大学 経済経営学部
ビ ティ ヒュエン	ベトナム 龍谷大学 国際学部

グエン ティ トゥー	ベトナム 大阪経済法科大学 国際学部
ヨウ シン イ	マレーシア 関西学院大学 国際学部
グエン バン コン	ベトナム 帝塚山大学 経済経営学部
ブレイ ブリアンナ	インドネシア 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部
ポンラピー プットポン	タイ 東京農工大学大学院 生物システム応用科学府
ドー シー アン	ベトナム 長岡技術科学大学大学院 工学研究科
グエン ティ フォン ティ	ベトナム 鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科
グエン トウ チャン	ベトナム 福井工業大学大学院 工学研究科
イグナシウス イアン サヴィオ グナワン	インドネシア 立命館大学大学院 情報理工学研究科
チ ミン カン	ミャンマー 上智大学大学院 総合人間科学研究科
シンディ シシリア	インドネシア 大阪女学院大学大学院 21世紀国際共生研究科

第3期SGH特定奨学生：6名

（一人当たり月額18万円、給付期間2年間）

年間給付額：1,296万円（令和6年4月～令和7年3月）

氏 名	国籍 大学／研究科 （敬称略・順不同）
チェン チェン ジェ	ベトナム 秋田大学大学院 理工学研究科
ライラ ディニ ハリサ	インドネシア 岐阜大学大学院 連合農学研究科
チャンタラプラシウム ナンタポン	タイ 大阪大学大学院 工学研究科
ウェイ ニン エインドラ マウ	ミャンマー 宮崎大学大学院 農学工学総合研究科
レー ミン ハオ	ベトナム 滋賀県立大学大学院 環境科学研究科

(2) 奨学生採用証書授与式

第 39 期 S G H 奨学生ならびに第 4 期 S G H 特定奨学生を対象とした授与式を次のとおり開催した。

日 時 令和 6 年 10 月 21 日（月）12:00～13:00
場 所 ホテルグランヴィア京都
内 容 第 39 期 S G H 奨学生・第 4 期 S G H 特定奨学生採用証書授与式

(3) 刊行物発刊

① 奨学生報告集「2024 年度版 アジアの和」

第 39 期 S G H 奨学生並びに第 4 期 S G H 特定奨学生の留学目的、学習または研究の方針及び感想文等と第 38 期 S G H 奨学生並びに第 3 期 S G H 特定奨学生の私の夢について掲載、令和 6 年 10 月に 250 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

② 第 38 期 S G H 奨学生・第 3 期 S G H 特定奨学生 研究成果・感想文集
令和 7 年 3 月に卒業・修了した第 38 期 S G H 奨学生並びに第 3 期 S G H 特定奨学生の研究成果・感想文集を令和 7 年 2 月に 250 部発刊し、奨学生、卒業奨学生及び財団関係者に配付した。

2 助成事業・褒賞事業

(1) 第 36 回 S G H がん研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がんに関する基礎研究または臨床研究に携わる満 45 歳未満の日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 6 年 6 月 30 日までに 81 機関から 198 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：25 件 金額：5,000 万円（1 件当たり 200 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
板橋 耕太	国立がん研究センター先端医療開発センター免疫トランスレーショナルリサーチ分野・ユニット長 泌尿器科がんの免疫チェックポイント阻害薬耐性機構の解明	

糸永 英弘	長崎大学病院細胞療法部・講師（副部長） 蛋白質メチル化酵素 PRMT の網羅的相互作用解析による急性骨髄性白血病の治療標的の探索
井上 大地	大阪大学大学院医学系研究科病理学講座がん病理学教室・教授 SETBP1 変異を有する難治性白血病の病態解析と治療応用
内原 脩貴	慶應義塾大学薬学部分子腫瘍薬学講座・助教 化学放射線治療時に生じる DNA 損傷依存的な翻訳変化を介したネオアンチゲン産生経路の解明と医療シーズの開拓
大島 健司	兵庫医科大学医学部病理学分子病理部門・教授 大腸がんの代謝の可塑性を標的とする新規がん治療法の開発
大原 悠紀	名古屋大学大学院医学系研究科生体反応病理学・特任助教 オミクス解析を用いた膵管腺癌におけるがん・間質の分子・代謝サブタイプの解明
片山 勇輝	京都府立医科大学大学院医学研究科呼吸器内科学・助教 腸内細菌叢と免疫微小環境のクロストークから紐解く肺がん免疫療法の革新的効果予測バイオマーカーの開発
加納 嘉人	東京科学大学（東京医科歯科大学）臨床腫瘍学分野・講師 AI ディープラーニングと RNA パネル解析を用いた胆道癌プレシジョンメディシンの基盤研究
雁金 大樹	東京科学大学（東京医科歯科大学）血液内科・特任准教授 成熟 B 細胞リンパ腫の起源探索と疾患モデル構築
川口 庸	滋賀医科大学呼吸器外科・講師 肺がん手術後に増加する単球を介した転移再発メカニズムの解明と周術期治療への応用
昆 彩奈	東京大学医科学研究所先端医療研究センター血液・腫瘍生物学分野・准教授 胚細胞遺伝子変異を伴う骨髄系腫瘍の遺伝学的・分子生物学的な特性の解明
佐伯 龍之介	京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学講座・助教 クローン性造血による発がんリスクを標的とした新規予防医療の基盤構築
佐々木 謙介	九州大学大学院医学研究院病態修復内科学・助教 CRISPR スクリーニングを用いた急性リンパ性白血病の化学療法抵抗性メカニズムの解明
七條 敬文	熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科学講座・助教 HTLV-1 bZIP factor タンパク質の時間空間的局在変化による ATL 発がん機構の解明と新規治療標的の探索
渋谷 里紗	東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座呼吸器内科学分野・助教 非小細胞肺癌の病態における翻訳機構の解明と tRNA 修飾に着目した新規治療法の開発

種子島 時祥	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野・助教 腎細胞がん上に発現する MHC クラス II を介した免疫抑制メカニ ズムの解明と新規標的療法の開発
鍋倉 宰	愛知県がんセンター研究所腫瘍免疫応答研究分野・分野長 次世代ナチュラルキラー細胞療法の開発に向けた基盤技術の構築
福島 啓司	東京科学大学（東京医科歯科大学）病院泌尿器科・助教 癌関連線維芽細胞を標的とした難治性尿路上皮癌の克服：近赤外 光による間質リモデリング治療
福村 和宏	藤田医科大学研究推進本部腫瘍医学研究センター・講師 RNA スプライシング制御機構の破綻が引き起こす抗がん剤耐性 獲得機構
平島 一輝	岐阜大学高等研究院・G-YLC 特任助教 新規代謝阻害剤によるアミノ酸・糖代謝を介した転移阻害メカニ ズムの解明
松本 知訓	大阪大学大学院生命機能研究科細胞ネットワーク講座倍数性病態 学研究室・准教授 倍数性を標的とした新たな難治癌治療戦略の創出
水野 桂	京都大学医学部附属病院泌尿器科・助教 cfDNA メチル化解析に基づく進行前立腺癌のクローン進化の解明 と新規診断治療戦略の開発
森田 寛	慶應義塾大学医学部外科学教室（一般・消化器）・助教 大腸癌肝転移における線維化誘導性免疫変容と転移再発メカニズ ムに関する研究
山岸 良多	大阪公立大学大学院医学研究科病態生理学講座・講師 老化肝星細胞の排除による腫瘍促進性 SASP 抑制法の開発
吉田 彩舟	東邦大学理学部生物分子科学科・講師 Hedgehog シグナルの新規活性化メカニズムを応用した薬剤耐性 がん細胞の克服

(2) 第 6 回 S G Hがん看護研究助成

日本の大学、研究機関、医療機関等において、がん看護に携わる日本人研究者及び医療従事者、並びに日本に定住する外国人研究者及び医療従事者の優れた研究を助成対象とし、大学、研究機関、医療機関等に応募要項、申請書及び推薦書を送付し、募集を行った。その結果、応募締切の令和 6 年 6 月 30 日までに 18 機関から 18 件の申請を受理し、選考委員会において総合的に審議の上、助成対象者を選出、理事会の承認を経て、次のとおり助成を行った。研究期間終了後、研究報告書及び会計報告書を入手する。

助成数：12 件 金額：600 万円（1 件当たり 50 万円）

氏 名	所属・役職／研究テーマ	(敬称略・五十音順)
阿部 麻里	一般社団法人次世代看護教育研究所・主任研究員 リアルワールドデータを用いた乳がん患者における CV ポート造設の実態及び血管外漏出発生の予測因子の探索	
板垣 栞	岡山大学病院周術期管理センター・看護師 高齢大腸がん手術患者における長期的な ADL と QOL 変化の指標としての術前機能評価の有用性の検証：単施設前向き観察研究	
沖田 翔平	金沢大学附属病院看護部・看護師 頭頸部がんへの化学放射線療法中のセルフケアと口腔内環境が口腔粘膜炎の進行に及ぼす影響	
桐明 あゆみ	久留米大学医学部看護学科成人看護学・教授 外来化学療法を受けている高齢がん患者の家族ニーズ測定尺度の開発 ―構成概念の検討とアイテムプールの作成―	
工藤 榛香	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンターがん対策センター・生物統計職 患者報告型アウトカムに基づくがん患者の相談支援業務の満足度評価に関する調査研究	
栗本 珠衣	国立がん研究センター中央病院看護部・看護師 甲状腺がん患者を対象としたレンバチニブパスポートを用いた院内外多職種連携による治療支援の有用性に関する研究	
小西 飛翔	名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻看護科学次世代育成看護学講座・大学院生（博士前期課程） 思春期成人形成期での血液・がん疾患経験が長期サバイバーに与える影響に関する研究	
副島 堯史	神戸大学大学院保健学研究科看護学領域・准教授 思春期・若年成人期がん経験者の「健康管理と仕事の両立」における尺度開発および関連要因の探索	
田墨 恵子	大阪大学医学部附属病院・看護師長 / 神戸女子大学大学院看護学研究科・大学院生（博士後期課程） 経末梢静脈がん薬物療法におけるカテーテル留置の困難性予測尺度（DPIVA-CP）の開発と検証	
田中 雅子	独立行政法人国立病院機構京都医療センター・がん薬物療法看護認定看護師・副看護師長 ウェイトド・ブランケット使用による外来化学療法を初めて行う成人患者が抱く精神的緊張の緩和効果：ランダム化クロスオーバー試験	
中村 江衣	日本医療大学保健医療学部看護学科・助教・がん看護専門看護師 がん性悪臭へ次亜塩素酸水を用いたケアの確立	
畑崎 華織	東京科学大学（東京医科歯科大学）大学院保健衛生学研究科在宅・緩和ケア看護学分野・博士前期課程 非接触型機器を用いた終末期がん患者に対する看護ケアの可視化に関する研究	

(3) 第 22 回 S G H 特別賞

がんの研究に顕著な功績を挙げ、かつ今後の発展が期待される研究者及び医療従事者の推薦を、医学部を有する大学、学会、がん診療連携拠点病院等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した

結果、推薦締切の令和6年6月30日までに14件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：1,000万円（1件当たり500万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「希望」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
落谷 孝広 氏	東京医科大学医学総合研究所・特任教授 細胞外小胞であるエクソソームによるがんの転移メカニズムの 解明と診断治療への応用	
北川 雄光 氏	慶應義塾大学医学部外科学・教授 食道癌に対する集学的治療、低侵襲治療の開発研究	

(4) 第22回SGH看護特別賞

がんの看護、予防、医療に関する研究に顕著な業績を挙げ、将来も活動が継続され、その成果が期待される個人、または団体の推薦を、CNSコースを有する大学、学会、看護協会等の団体、学識経験者、当財団理事、評議員及び顧問に依頼した結果、推薦締切の令和6年6月30日までに9件の推薦があり、選考委員会による慎重かつ公正な選考結果をもとに理事会の承認を経て、次のとおり褒賞を行った。翌年度、受賞テーマの研究報告書を入手する。

贈呈数：2件 総額：200万円（1件当たり100万円）

栗和田榮一賞：彫刻家 笹戸千津子氏作のブロンズ像「悠」

氏名	所属・役職／受賞テーマ	(五十音順)
雄西 智恵美 氏	国立国際医療研究センター国立看護大学校 看護学部長・成人看護学教授 手術や薬物療法に伴いがん患者が体験する苦痛や生活の変化に対して、個別的で長期的なケア方法の検討と実装に向けた取り組み	

滋賀医科大学医学部附属病院リンパ浮腫外来 代表者：服部 聖子 氏

リンパ浮腫患者のセルフケア支援を提供する体制の整備と継続

(5) 授与式・授賞式の開催

第36回SGHがん研究助成金受領者、第6回SGHがん看護研究助成金受領者を対象とした授与式、第22回SGH特別賞授賞式、第22回SGH看護特別賞授賞式を次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 7 年 1 月 18 日）に掲載した。

日 時	令和 6 年 11 月 30 日（土）11:00～12:30
場 所	ホテルグランヴィア京都
内 容	第 36 回 S G H がん研究助成金授与式 第 6 回 S G H がん看護研究助成金授与式 第 22 回 S G H 特別賞・S G H 看護特別賞授賞式

(6) 研究成果報告集の刊行

第 35 回 S G H がん研究助成金受領者、第 5 回 S G H がん看護研究助成金受領者及び第 21 回 S G H 特別賞受賞者、第 21 回 S G H 看護特別賞受賞者より提出されたがんに関する研究成果報告と令和 6 年度のがん研究振興事業報告を掲載し、「2024 S G H がん研究報告 Vol.35」を令和 7 年 3 月に 1200 部発刊し、全国の大学、研究機関、病院等に配付した。

3 がんに関する市民講座の開催

第 23 回市民公開講座をオンライン配信により次のとおり開催した。

なお、採録記事を読売新聞全国版朝刊（令和 7 年 3 月 29 日）に掲載した。

第 23 回市民公開講座

「前立腺がん 進歩する治療とあなたの選択」

日 時 令和 7 年 3 月 2 日（日）13:00～15:45

講演（各 25 分）

「待機療法、手術療法についての最新情報」

小林 恭 氏

（京都大学大学院医学研究科泌尿器科学教授）

「放射線治療（X 線、粒子線、小線源治療）についての最新情報」

溝脇 尚志 氏

（京都大学大学院医学研究科放射線腫瘍学・画像応用治療学教授）

「ホルモン治療、抗がん剤など全身治療についての最新情報」

木村 高弘 氏

（東京慈恵会医科大学泌尿器科教授）

「患者から見た前立腺がん治療について」

武内 務 氏

（NPO 法人腺友倶楽部理事長）

パネルディスカッション（55 分）

モデレーター：平岡 眞寛 氏、小西 郁生 氏

パネリスト：小林 恭 氏、溝脇 尚志 氏、木村 高弘 氏、
武内 務 氏

コーディネーター 平岡 眞寛 氏

（京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問）

小西 郁生 氏

（京都大学名誉教授／国立病院機構京都医療センター名誉院長）

司 会 植月 百枝 氏（フリーアナウンサー）

参加者数 6453 名

後 援 公益財団法人日本対がん協会

協 力 SG ホールディングスグループ

その他事業

1 中古トラックの無償寄贈事業

本事業については、本年度は休止した。

2 人材育成支援事業

(1) 日中友好物流人材育成支援研修

本事業については、本年度は休止した。

(2) ラオス物流人材育成支援

ラオス人民民主共和国のラオス国立大学で物流を専攻する学生 42 名並びに公共事業運輸省職員及び物流業に従事する社会人 40 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 6 年 5 月 13 日（月）～5 月 21 日（火）

内 容 第 7 期ラオス物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(3) ベトナム物流人材育成支援

ベトナム社会主義共和国のホーチミン市交通大学で物流を専攻する学生 188 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国

土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 6 年 7 月 1 日（月）～7 月 9 日（火）

内 容 第 9 期ベトナム物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

(4) マレーシア物流人材育成支援

マレーシアのスルタン・ハジ・アーマド・シャー短期技能大学で物流を専攻する学生 150 名に下記のとおり講義の提供を行った。平成 26 年度より、国土交通省の日 ASEAN 交通連携に協力し、ASEAN 地域を対象に物流に関する講義の提供を行っている。

日 時 令和 6 年 10 月 7 日（月）～10 月 11 日（金）

内 容 第 1 期マレーシア物流集中講義
物流概論、物流オペレーション

II 処務の概要

1 役員等に関する事項

(1) 役員に関する事項

理事 定数：5名以上7名以内 現在：6名 任期：2年

監事 定数：3名以内 現在：2名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
理事長	栗和田 榮一	SGホールディングス株式会社代表取締役会長 佐川急便株式会社会長
理事	大久保 潔	SGホールディングス株式会社総務部理事
理事	小西 郁生	京都大学名誉教授／独立行政法人国立病院機構京都医療センター名誉院長
理事	平岡 眞寛	京都大学名誉教授／宇治徳洲会病院顧問
理事	古城 紀雄	大阪大学名誉教授
理事	堀江 未来	立命館大学グローバル教養学部教授
監事	藤村 伸治	はばたき税理士法人代表社員
監事	堀村 不器雄	税理士法人堀村会計事務所代表社員

(2) 評議員に関する事項

評議員 定数：5名以上7名以内 現在：5名 任期：4年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
評議員	上田 龍三	名古屋大学大学院医学系研究科特任教授／名古屋市立大学名誉教授
評議員	武 藤 誠	公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院理事・医学研究所長／京都大学大学院医学研究科連携大学院教授
評議員	西堀 正司	公益社団法人日本中国友好協会専務理事
評議員	馬場 完造	馬場完造税理士事務所
評議員	松本 秀一	SGホールディングス株式会社代表取締役社長

(3) 顧問に関する事項

顧問 定数：なし 現在：9名 任期：2年

	氏名	所属・役職等 (五十音順)
顧問	垣添 忠生	公益財団法人日本対がん協会会長
顧問	菊地 宏子	元一般財団法人佐川国際経済協力会事務長
顧問	葛野 正彦	元いすゞ自動車販売株式会社理事
顧問	河野 伊一郎	独立行政法人国立高等専門学校機構顧問／倉敷芸術科学大学学長顧問／岡山大学名誉教授（元学長）
顧問	佐谷 秀行	藤田医科大学がん医療研究センターセンター長
顧問	橋本 逸男	公益社団法人日本中国友好協会副会長／日本ラオス協会会長
顧問	畠 清彦	医療法人財団順和会赤坂山王メディカルセンター予防医学センター／国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授
顧問	三嶋 理晃	京都大学名誉教授／大阪府済生会野江医療福祉センター総長
顧問	山岸 久一	京都府立医科大学名誉教授（元学長）

2 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月27日	令和5年度事業報告及び附属明細書の承認の件	承認
	令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	第39期SGH奨学生及び第4期SGH特定奨学生採用決定の件	承認
	選考委員会規程改定の件	承認
	選考委員（SGH奨学生・SGHがん研究助成・SGHがん看護研究助成・SGH特別賞・SGH看護特別賞）選任の件	承認
	SGホールディングス株式会社定時株主総会における議決権行使の件	承認
	定時評議員会開催の件	承認
	職務執行状況について	報告

令和6年9月17日 (みなし決議)	第22回SGH特別賞受賞者決定の件	承認
	第22回SGH看護特別賞受賞者決定の件	承認
	第36回SGHがん研究助成採択決定の件	承認
	第6回SGHがん看護研究助成採択決定の件	承認
令和7年3月17日	基本財産繰り入れの件	承認
	令和7年度事業計画書、収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類承認の件	承認
	職務執行状況について	報告

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年6月17日	令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件	承認
	定款一部変更の件	承認
	監事2名選任の件	承認
	議事録署名人選任の件	承認
	令和5年度事業報告の件	報告

(3) 各種委員会

① SGH奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年5月6日	第39期SGH奨学生の選考に関する件、 第4期SGH特定奨学生の選考に関する件	対象者を選出

② SGHがん研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年9月3日	第36回SGHがん研究助成選考に関する件	対象者を選出

③ SGHがん看護研究助成選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年8月29日	第6回SGHがん看護研究助成選考に関する件	対象者を選出

④ SGH特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年8月1日	第22回SGH特別賞選考に関する件	対象者を選出

⑤ SGH看護特別賞選考委員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
令和6年8月6日	第22回SGH看護特別賞選考に関する件	対象者を選出

3 業務の適正を確保するための体制及び当該体制の運用状況

(1) 理事の職務執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

理事の職務執行は、法令及び定款等に基づいて行われ、その職務執行に係る情報は、理事会議事録に記載され、その記録の保存・管理は、適切に保存及び管理している。

(2) 理事及び職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

法令、定款及び社会規範等の厳守を目的としている。

4 内閣府への提出等に関する事項

提出年月日	内容
令和6年6月20日	事業報告等の提出
令和6年6月20日	変更の届出
令和7年3月24日	事業計画書等の提出

5 寄附収入に関する事項

なし

附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律
施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足
する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 6 月

公益財団法人 S G H 財団